3 利用サービスごとに、接続するインターネットプロバイダを変更する

利用するサービス(例えば ftp や電子メール)ごとに、接続するインターネットプロバイダを切り替えることができま す。本商品は、指定したサービスを受信すると、自動的にインターネットプロバイダを選択し、接続します。このよう な動作をするためには、「使用するアプリケーションで接続先を選択(TCP/UDP ポート番号ルート情報)」にてアプリ ケーションと接続先の対応を登録し、特定サービスの接続先を指定します。



■設定のポイント

- 設定用のパソコンを1台決め、WWW ブラウザによる設定を行ないます。
- 利用するインターネットプロバイダそれぞれから通知された、電話番号、ユーザ ID、認証パスワード、DNS サーバアドレスを、それぞれ接続先 No1、接続先 No2 に設定します。
- ・ 既存の LAN に DHCP サーバがある場合は、本商品の DHCP サーバ機能を「使用しない」に設定します。
- 利用するサービスによって接続先を変更するよう、TCP/UDP ポート番号ルート情報を設定します。特定の サービスで接続先を固定する場合、対象としたいサービスの「プロトコル」と「ポート番号」を調べ、その ポート番号と接続先の No を設定します。

ポート番号については「TCP/UDP ポート番号一覧」をご覧ください。

■動作条件

インターネットプロバイダ A に接続

- インターネットプロバイダ指定の DNS サーバ(100.101.102.103 と 100.101.102.104)を使用します。
- 電子メール以外のサービスを利用します。

インターネットプロバイダ B に接続

- ・ DNS サーバアドレスは自動取得とします。
- ・ 電子メールサービスのみを利用します。
- インターネットプロバイダ指定のメールサーバ(メールサーバ名 =xx.ocn.ne.jp)を使用します。

■設定例

設定用のパソコンを1台決め、パソコンを本商品に接続します。
 WWW ブラウザを起動したのち、本商品にログインします。

TOP ページが表示されます。 インターネットプロバイダAへの接続先の設定を行います。 「QUICK 設定」メニューより「ISDN /プロバイダ接続(端末型)」画面をクリックします。



「ISDN /プロバイダ接続(端末型)」画面が表示されます。
 接続先を登録します。「接続先の設定」で[追加]ボタンをクリックします。



4. 「ISDN / プロバイダ接続(端末型)接続先の設定」画面が表示されます。 次の項目を設定します。

(1) 接続先情報

| 項目 | 設定例 | 備考 |
|---------|--------------|---------------------------------|
| No | No1 | |
| 接続先名 | ISP | 任意の名前を設定します。 |
| 接続先電話番号 | 012-345-0000 | ノンカーカットプロバノゲトの初始中空にしたがって恐らしてノギナ |
| ユーザ ID | Uid | インダーネットフロハイダとの契約内容にしたかつて設定してくたさ |
| パスワード | pass1 | v · o |



| 項目 | 設定例 | 備考 |
|------|------|----|
| 接続方式 | 自動接続 | |



(3) Proxy DNS 機能

| 項目 | 設定例 | 備考 |
|--------------------------------|-----------------|----------------------------------|
| Proxy DNS 機能を使用する | チェックする | |
| (アドレス入力欄の) DNS サーバアドレスを使用する | チェックする | |
| プライマリ DNS サーバアドレス | 100.101.102.103 | 自動取得をサポートしているインターネットプロバイダでは、「DNS |
| セカンダリ DNS サーバアドレス | 100.101.102.104 | サーバアドレスを自動取得する」をチェックします。 |



(4) マルチリンク PPP 機能

| 項目 | 設定例 | 備考 |
|---------------|-------|----|
| マルチリンク PPP 機能 | 使用しない | |



5. [設定]ボタンをクリックします。

| 🖉 IPMATE1500RD V01.00 - Microsoft In | ternet Explorer |
|--|---|
| | (に入り(A) ツール(① ヘルプ(H) (日) |
| ゆ ・ → ・ 図 良る 進む ・ 中止 | ■ ○ ○ ■ ○ ■ ○ ■ ○ ● ○ · ● ○ |
|] アドレス(D) 🛃 http://192.168.1.1/ | |
| IPMATE1500RD TOP 全部開く 全部開く 全部開しる SRVE ISDN QUICK設定 法置 レータ機能 電話 水燃表示 イベントログ 接続ログ(合計) 接続印度信報 メール確認・転送 手動発信・功断 メジテナンス | ・ 自動接続 Proxy DNS機能を使用しない Proxy DNS機能を使用しない Proxy DNS機能を使用しない Proxy DNS機能を使用しない Proxy DNS機能を使用する ここにチェックを入れた際には、IONSサーバアドレスを自動取得する (アドレス入力欄の)DNSサーバアドレスを使用する ブライマリDNSサーバアドレスを自動取得する (アドレス入力欄の)DNSサーバアドレスを使用する ブライマリDNSサーバアドレスを使用する ブライマリDNSサーバアドレス 100.101.102.103 セカンダリDNSサーバアドレス 100.101.102.104 マルチリンクPPP 機能(*4) 使用しない 使用する]にチェックを入れると認常の信の料金があります。 (*1)「接続先名」は、接続するインター (*1)「接続先名」は、接続するインター クリック するための、アクセスポイントの電話番号を入力します。 (*1)「接続先名」は、接続するインター |
| ا ف | INIT パフロードな1 ナルキオ (クロードな1 ナルキオ) (の) インターネット () |

6. 「ISDN /プロバイダ接続(端末型)」画面に戻ります。 引き続き、インターネットプロバイダ B への接続先の設定を行います。 接続先を登録します。「接続先の設定」で[追加]ボタンをクリックします。



7. 「ISDN /プロバイダ接続(端末型)接続先の設定」画面が表示されます。 次の項目を設定します。

(1) 接続先情報

| 項目 | 設定例 | 備考 |
|---------|---------------|----------------------------------|
| No | No2 | |
| 接続先名 | ISP2 | 任意の名前を設定します。 |
| 接続先電話番号 | 012-3456-9999 | ノンターカットプロバノゲトの初始中空にしたがって恐らしてノギナ |
| ユーザ IDU | Uid2 | インダーネットフロハイダとの契約内容にしたかって設定してくたさい |
| パスワード | pass2 | |



| 項目 | 設定例 | 備考 |
|------|------|----|
| 接続方式 | 自動接続 | |



(3) Proxy DNS 機能

| 項目 | 設定例 | 備考 |
|--------------------|--------|----|
| Proxy DNS 機能を使用する | チェックする | |
| DNS サーバアドレスを自動取得する | チェックする | |



(4) マルチリンク PPP 機能

| 項目 | 設定例 | 備考 |
|---------------|-------|----|
| マルチリンク PPP 機能 | 使用しない | |



8. [設定]ボタンをクリックします。

| IPMATE1500RD V01.00 - Microsoft In | nternet Explorer |
|---|--|
| │ ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気 | 私に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H) (日) |
| | □ ☆ ② ☆ ③ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ |
| アドレス(D) 🛃 http://192.168.1.1/ | |
| IPMATE1500RD | ● 自動接続 ▲ |
| TOP 全部開く マ全部閉じる▲ SAVE ISDN | Proxy DNS 機能(#3) C Proxy DNS機能を使用しない で Proxy DNS機能を使用する ここにチェックを入れた際には、「DNSサーバ情報」の設定をする必要があります。 |
| ▶ QUICK設定 > 装置 ▶ ルーク機能 □ TA機能 □ 電話 ▶ 状態表示 □ イベントロヴ | DNSサーバ情報 © DNSサーバアドレスを自動取得する © (アドレス入力者の)DNSサーバアドレスを使用する ブライマリDNSサーバアドレス セカンダリDNSサーバアドレス |
| | マルチリンクPPP 機能(*4) ・ 使用しない ・ 使用する ・ 使用する」にチェックを入れると通常の信の料金が多い。 |
| | 設定 (*1)「接続先名」は、接続先を区別する名前 「接続先電話番号」は、接続するインター まず、 「ユーザID」と「パスワード」は、接続するインターネットプロバイダから指定されたユーザID(またはログイン名)と 訳研パスワードを入力します。 |
| e] | |

9. 「ISDN /プロバイダ接続(端末型)」画面に戻ります。

引き続き、「使用するアプリケーションで接続先を選択」と、メールサービスの接続先(ドメイン名による DNS 問 い合わせ先の選択)の設定を行います。

「接続先の選択条件」の「使用するアプリケーションで接続先を選択」にて、次の項目を設定します。

| 項目 | 設定例 | 備考 |
|--------------|----------|------------|
| メールを送信(SMTP) | チェックする | ポート番号は 25 |
| 接続先 No | 2 : ISP2 | |
| メールを受信(POP3) | チェックする | ポート番号は 100 |
| 接続先 No | 2 : ISP2 | |



10. 「DNS 問い合わせ先の選択」の「ドメイン名による DNS 問い合わせ先の選択」にて、次の項目を設定します。 * デフォルト DNS が接続先 A (接続先名: ISP) になっていることを確認してください。

| 項目 | 設定例 | 備考 |
|------------|--------------|----|
| ドメイン名 | xx.ocn.ne.jp | |
| DNS 問い合わせ先 | 2 : ISP2 | |



11.[設定]ボタンをクリックします。

*「LAN 側の設定」「常時接続」「タイマ接続」の設定は不要です。 初期状態のままでお使いください。



12. 再起動画面が表示されます。

[SAVE] ボタンをクリックし、[保存・再起動] ボタンをクリックすると、再起動されます。 本商品の液晶ディスプレイに「ISDN READY」または「Layer1 Up」が表示され、POWER ランプが緑点灯したら、設 定完了です。



以上で終了です。